

2021年度 事業報告書
2021年1月1日～2021年12月31日
特定非営利活動法人 Earth as Mother

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Earth as Motherは、愛知県内外と名古屋市・豊田市、日進市を中心として活動。

令和3年度の活動目標は、例年継続事業として既存会員へのご提供サービスのレベル向上の為、会員向けメール配信やホームページを展開、会報誌マザリーアースたいむずは、年2回の定期的な情報発信を行い、新会員には、名刺と徽章などの配布を継続で行った。

会員以外への情報発信は、「とよたつながる博」のプログラムとして農業体験をイベント開催、「また、ボランティア募集掲載サイトの「アクティボ」へ登録し46人の応募参加があった。

今年度は新型コロナウイルスの影響によるイベントが中止となることもあり、愛知県や豊田市の公的な広報となる「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等へのイベント情報の掲載は中止した。

今年度の豊田市開催のイベントについては、新型コロナウイルス感染予防をした上で、参加者を募り、農薬・化学肥料・除草剤を一切使用しない完全オーガニック作物の安全な食農と健康に関する課題提起、解決を図った。会員やこれまでのイベント参加者などが参加され、家族の不満防止の協力を行った。

日進市アグリスクールにおいては、日進市の委託事業で日進市役所が主体の為、新型コロナウイルスの影響がある中、毎回実施に向けて指導、協議を図り、今年度はお米作りと里芋作りを実施。最後は参加者全員が集まり共食ワークショップを体験。里芋のコロッケ作りと竹筒水飯を行い、共食を楽しく開催。

農林水産省食料産業・6次産業化交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)令和2年度、3年度と継続している事業。令和3年度はシンポジウムや教育ファーム検討委員会のほかに伝統料理講座を開催し食文化の継承や地産地消、親子でも調理体験の必要性を伝えた。

豊田市藤岡、猿投地区、日進市の田畑では、農業後継者が激減していく中、遊休農地や耕作放棄地が増えた問題や国内自給率が低い等の課題や地産地消を促す有機循環自然農法を実践し、安心安全な農薬・除草剤・化学肥料不使用の完全オーガニック氣力野菜、氣力米を作り、ボランティアを受入れて親子や一般参加者に農業に関わる環境を継続的に行っている。

新型コロナウイルスの影響でイベント開催は減少したが、健康で持続可能な地域社会を基盤とするコミュニティ構築を形成出来る様に活動を推進し、愛知県本部より岐阜県・三重県・千葉県・兵庫県・青森県等の県外にも理念の普及啓発とマザリーアースプロジェクトの賛同実践者を増やし、会員増強に努める。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。

- ③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 農作業及びその付帯業務の代行及び請負事業。
- ⑦ 農具及び土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る研修事業

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

(ア) 事業内容

WEBシステム利用の活動はメール配信にてイベント・セミナー・ボランティア等の発信。会員以外の方への情報発信は、Facebookや「とよたつながる博」へ企画参加し公募を実施。愛知県や豊田市の公的な広報である「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報の掲載は2年も続く新型コロナの影響もあり掲載中止。

(イ) 事業内容

とよた市民活動センター20周年記念事業の「縁ジョイ市民活動フェスタ」に出展。当初パネル展示にて活動紹介を申し込みしていたが、新型コロナウイルス感染予防の為オンライン開催となった。新たに動画制作を行うことで、不特定多数の方へ配信する事が出来た。

(ウ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 他団体交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体)	とよた市民活動センター 20周年記念事業 縁ジョイ市民活動フェスタ	(A) R3. 10. 24 10:15～16:00 (B) 豊田 (オンライン) (C) 2人	(D) 豊田市民等 (E) 不特定多数	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0円

(内訳)

- ・コロナにて中止

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

- ・無し

(4) 反省点・改善ポイント

動画制作や配信が、課題になっていたことや今まで使用していた活動紹介も若者向けに改定が必要となっていたので良い機会となった。

(エ) 事業内容

国際交流の場として参加している「岡崎市の生き生きコミュニティづくり」、「りぶらまつり2021プレイベント」、「りぶらまつり2021」、「年末感謝祭」は、今年も新型コロナウイルスの影響により中止となった。

※ 国際交流事業は、当会の理事の1人が岡崎ニュースを発行し、国際交流を長年開催されており共催にて例年実施していた。

(オ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 国際交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的) な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	生き生きコミュニティづくり in 岡崎 コロナの為に中止	(A) R3. 4. 3 (B) 岡崎市図書館交流プラザ (C)	(D) 岡崎市、その他一般市民 (E)	0円
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援	りぶらまつり2021プレイベント コロナの為に中止	(A) R3. 8. 21 (B) 岡崎市図書館交流プラザ (C)	(D) 岡崎市、その他一般市民 (E)	0円

する事業。 (国際交流)				
① WEB システム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	第13回 りぶら祭り2021 おかざき国彩幸流会 Earth café コロナの為 中止	(A) R3. 10. 30～31 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ (C)	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E)	0円
① WEB システム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	第32回国彩幸流会 Earth café 年末感謝祭 コロナの為 中止	(A) R3. 12. 18 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ リブラ 3階 (C)	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E)	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 人）

総合計 0円

(内訳)

- ・全事業コロナにて中止

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

- ・全事業コロナにて中止

(4) 反省点・改善ポイント

- ・無し

(カ) 事業内容

その他として、I-T-E-N(株)様の経営と従業員に対しての相談指導。

(キ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 その他

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	会社の経営と従業員に対しての相談指導	(A) 月 1 回 (B) 事務所又は リモート (C) 1 名	(D) 会員対象 (E) 1 名	0 円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0 円

(内訳)

・ リモート コンサル

(3) 収益

総合計 600,000 円

(内訳)

・ I-TEN(株) 顧問料 600,000 円

(4) 反省点・改善ポイント

・ 無し

(ク) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業

(ケ) 事業内容

環境セミナーとして、会員向けに、「Motherly earth Project理念継承勉強会」を開催。Motherly earth Projectの元であるUniverse State の説明。設立趣意やコミュニティ構築に向けての目的、実践・実行に向けての講話を実施。

今回も昨年と同様に地方支部からも多数参加。原点・理念を多くの会員と共に学べた。総会後にマザリーアースプロジェクトセミナーを開催し、愛知の各事業部と青森、千葉、岐阜、三重、兵庫各支部、東京エリアの活動発表を行った。

(コ) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	マザリーアースプロジェクトセミナー兼理念継承勉強会を開催 各エリア、支部活動発表	(A) R3. 3. 14 13:30～16:30 (B) ウィルあいちセミナー ルーム 1. 2 (C) 10 人	(D) 会員 (E) 48 人	0 円

(2) 総費用 (無償ボランティア10人)

総合計 0 円

(内訳)

- ・会場賃借料 0 円 (総会費 3 / 1 4 負担)

(3) 収益

総合計 0 円

(内訳)

- ・総会費として集客の為無料

(4) 反省点・改善ポイント

企画内容検討に時間がかかり、広報用のチラシ配布などの広報が遅れることになった。
検討時期を見直し、早くし集客につなげる。



(サ) 事業内容②

環境イベントでは、「親子で楽しむ、原木しいたけの菌打ち体験会」を開催。しいたけ菌打ち体験の他にしいたけ茶や焼きしいたけの提供も行い、最後迄楽しめるプログラムを用意。

また、年4回の豊田市での主たるイベントの第2回目として「生き物いっぱいの田んぼでいきものみつけ! ♪」と題し開催。本イベントは「とよたつながる博」のプログラムとしても開催。大人も子供も自然の中で生き物と共生している事を学ぶイベント。

(シ) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	『親子で楽しむ、原木しいたけの菌うち体験会♪』を開催	(A) R3.3.28 9:30～12:30 (B) 豊田市猿投町農事専従者寮 (C) 8人	(D) 豊田市一般、会員 (E) 13人	600円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	第2回環境イベント 『生き物いっぱいの田んぼでいきものみつけ!』を開催	(A) R3.8.8 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投棒の手会館裏 当会圃場 (C) 15人	(D) 愛知県一般、会員 (E) 50人	2,556円

(2) 総費用(無償ボランティア24人)

総合計 3,156円 (600円+2,556円)

(内訳)

・椎茸菌代 0円 ・保険料 1,800円 (600円+1,200円)
 ・売上原価 956円 ・賃借料 400円

(3) 収益

総合計 62,500円 (19,500円+43,000円)

(内訳)

◆参加費

・椎茸の菌うち体験会 (3/28) 19,500円
 ・一般大人(高校生以上) 13,500円 (1,500円×9人)
 ・スタッフ 6,000円 (1,500円×4人)
 ・生き物調査イベント (8/8) 43,000円
 ・一般大人(高校生以上) 24,000円 (1,200円×20人)
 ・小中学生 1,000円 (200円×5人)
 ・未就学児(3歳以下) (0円×7人)
 (食事代 希望者のみ)
 ・スタッフ 18,000円 (1,200円×15人)

(4) 反省点・改善ポイント

しいたけ菌打ち体験においては、コロナウイルスの影響や広報の遅れで集客が少ない。広報を早くすることやアピールの方法についての改善が必要。

生き物調査については、大人数に対応出来る様にスタッフも増やしていきたい。コロナウイルスの感染予防の為開催時間を短縮して行っていたが、参加者からは生き物観察で生物多様性について学び事が出来た。



(ス) 事業内容

環境・寺子屋事業部のものづくりとしては、愛知県のテーマパークであるモリコロパークで例年開催している「モリコロパーク春・秋まつり」へ参加し「モリゾー・キッコロをハサミ一本で作る粘土教室」を行っていたが、新型コロナウイルスの影響により中止。

「にっしんわいわいフェスティバル2021」にて、日進市のマスコットキャラクターの「ニッシーの粘土教室」を開催しようとしたが、新型コロナウイルスの影響により中止。

豊田市での主たるイベントの第4回目になる食育イベントの食農感謝祭にて『蕁でクリスマスリース作り』を収穫後の蕁を活用し、楽しみながら体験。また昔の蕁の活用方法を参加者へ説明している。

(七) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	モリコロパーク 春祭り ハサミ1本で作る モリゾー、キッコロ の粘土教室 コロナの為中止	(A) R3. 3. 20 (B) モリコロ パーク (C) 0人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (E) 0人	0円
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	モリコロパーク 秋祭り ハサミ1本で作る モリゾー、キッコロ の粘土教室 コロナの為中止	(A) R3. 9. 18 (B) モリコロ パーク (C) 0人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (F) 0人	0円
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	にしんわいわい フェスティバル 2021 「粘土で作る ニッシー作り」 コロナの為中止	(A) R3. 7. 3 (B) 日進市 市民会館 (C) 0人	(D) 日進市 一般、会員 (E) 0人	0円
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋もの づくり)	第4回食育イベント 食育感謝祭 「餅つきと 和太鼓演奏会」 『藁でクリスマスリ ース作り』を開催	(A) R3. 12. 5 10:00～14:30 (B) 豊田市猿投町 農事専従者寮 (C) 15人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 56人	0円

(2) 総費用(無償ボランティア 15人)

総合計 0円

(内訳)

・コロナの為中止

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

- ・クリスマスリース(12/5)

全員自由参加

16,800円(300円×56名)

- ・コロナの為中止

(モリコロパーク春祭り・秋祭り、にっしんわいわいフェスティバル2021)

(4) 反省点・改善ポイント

藁でのリース作りで、時間内に出来なかったのが工程の見直しが必要。



(ソ) ③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

(タ) 事業内容

心の学校メンタルヘルスのワークショップは、心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として、物事の考え方、言葉の使い方、生き方を変える事で「プラス思考」に言葉使いを変えていく事で、人生観が変われる生き方を指導。物事の考え方を変えるだけで、悩みが解消されて心の問題が解決に変わっていきます。解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンダラ思考を通して自己改革自己啓発の仕方を指導。

ワークショップ形式セミナーを愛知で開催してきたが、今年度は新型コロナウイルスの影響と講師である理事長の体調不良により中止。スタッフが開催。

福祉健康促進として障害者の方の共同生活グループホーム事業経営での経営者としての

経営、運営管理の悩み等、多義にわたってのメンタルヘルス相談。

(チ) ③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

その他として企業者へのメンタルヘルス・コンサル事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業 (心の学校)	心の学校はマンダラチャートを使用して自己分析していくワークショップ形式の自己改革	(A) 1 回 (B) 事務所 (C) 1 人	(D) 愛知県内外一般、会員 (E) 3 人	0 円
③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業 (その他)	心のメンタル相談利用者・スタッフの方々の雇用など問題。事業者を対象に毎月コンサル相談をして指導料を頂き改善策を指導	(A) 月 1 回 (B) 事務所 (C) 2 人	(D) 会員対象 (E) 1 人	0 円

(2) 総費用 (無償ボランティア 3人)

総合計 0 円

(内訳)

会場は事務所にて無料

(3) 収益

総合計 1, 206, 000 円

(内訳)

- ・心の学校 参加者 6, 000 円 (3 人× 2, 000 円)
- ・心のコンサル参加者 1, 200, 000 円 (12 回×100, 000 円)

(4) 反省点・改善ポイント

心の学校は、理事長が体調不良で中止すれば良かったのを無理に頼まれて開催した。
結果は理事長のように指導が出来なかった。会員の方で胸をなでおろした。

(ツ) ④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

(テ) 事業内容

食育・食農の農業関連事項については「心の学校の課外授業」として位置付けられ、食農イベントを猿投町棒の手会館裏当会圃場にて年2回開催。

1回目は素手での田植え体験。2回目は稲刈りと五平餅づくり体験。稲刈りは「とよたつながらの博」のプログラムとして実施。

食育イベントは、農事専従者寮にて「食農感謝祭」と題し開催。毎年年末に恒例の食農食育豊作感謝祭が一年のお礼にTUWAMONO彩の和太鼓演奏と収穫祭らしく大量の餅つきと菓膳料理等が盛大に振舞われる最高のイベントになる。

豊田市猿投町と藤岡飯野町の圃場を、障がいを伴う方々（自閉症などの知的障害・発達障害等）・うつ病・生活困窮者・生活保護者への農業を通じた就労準備訓練実施の場として使用。日進市や岐阜支部土岐エリアにおいても就労準備訓練の場として活用。

活動として共働共生を目指し、完全オーガニックで（農薬・化学肥料、除草剤不使用）安心安全な農業指導を実践の中で、健康に係る問題改善や解決を図る為に、耕作地は農地バンクを活用し、不耕作地と農業後継者問題の最中、有機循環自然農法の普及を会員や一般者・ボランティアに向けての農業指導を実践。完全オーガニックの野菜は安心安全、美味しいと子供たちにも喜んで食べられる野菜を提供出来るイベントで、食育・食農の大切さを伝える機会を増やし、健康で持続可能な社会基盤を形成出来る様に活動を推進。普及と向上と同時に環境保全で生き物や自然との共生の大切さ、いのちを育む大切さについて活動を通じて伝え、半農半就をしながら福祉と農業を活かした、自給自足のコミュニティ構築を目指して実践・継続中。

今年度もCSR活動で、企業ボランティアの安城市の東和精機株式会社様に農業支援応援、協力を得ている。農業ボランティア、企業ボランティアとしての参加者へは、日頃の感謝を込めて、食農感謝祭に招待の声掛けをしたがコロナウイルス蔓延で不参加。

会員やご家族に限らず、参加者の子ども達にも農業を伝承し、美味しい無農薬野菜の味を知る事で元気に健康になり、未来・将来役立つ人間である事で、イベント開催に意義が見い出せた。

もし、食糧危機が来た時に農業経験があれば、災害時に生き残れ、自然と共生をして行く事の大切さを体験していれば、農業は次世代の担い手に受け継がれると私達は信じ青少年育成と社会人などのボランティア受入も実施。

(ト) ④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

農事業・食育・食農イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位： 円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (農事業)	農事業部 軽トラック貸出	(A) R3. 1. 17 9:00～17:30 (B) 豊田市猿投町 農事専従者寮 (C) 1人	(D) 会員 (E) 1人	0円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	「親子で楽しむ♪食農・食育体験・紫のお米の田植えをしよう！」を開催	(A) R3. 5. 2 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投棒の手会館裏 当会圃場 (C) 15人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 33人	2,596円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	とよたつながる博 「稲刈りとこだわりのお米とお味噌を使った五平餅づくり」を開催	(A) R3. 10. 3 9:30～12:30 (B) 豊田市猿投棒の手会館裏 当会圃場 (C) 16人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 54人	1,600円
④資源循環型・環境保全型経済	第1回食育イベント 「食農感謝祭」 杵と臼を使用した昔	(A) R3. 12. 5 10:00～14:30 (B) 豊田市猿投町	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数	2,400円

を推進するコミュニティの構築事業（食育イベント）	ながらの餅つき、クリスマスリース作り。TUWAMONO 彩の和太鼓演奏と体験・収穫祭薬膳料理。	農事専従者寮 (C) 15人	69人	
--------------------------	---	-------------------	-----	--

(2) 総費用（無償ボランティア 44人）

総合計 6, 596 円 (2,596円+1,600+2400円)

(内訳)

- ・通信運搬費 1, 596 円 ・賃借料 2, 000 円 (400円+400円+1,200円)
- ・保険料 3, 000 円 (600円+1,200円+1,200円)

(3) 収益

総合計 180, 700 円 (3,000円+33,200円+48,800円+95,700円)

(内訳)

○農事事業部軽トラック貸出 3, 000 円

○「親子で楽しむ♪食農・食育体験・紫のお米の田植え (5/2) 33, 200 円

- ・一般大人（高校生以上） 14, 400 円 (1, 200 円×12人)
- ・小中学生以下 3, 200 円 (800 円× 4人)
- ・未就学児（3歳以下） 0 円 (00 円× 2人)
- (食事代 希望者のみ)

・スタッフ 18, 000 円 (1, 200 円×15人)

○「稲刈りとこだわりのお米とお味噌を使った五平餅づくり」(10/3) 48, 800 円

- ・一般大人（高校生以上） 28, 800 円 (1, 200 円×24人)
- ・小中学生以下 800 円 (200 円× 4人)
- ・未就学児（3歳以下） 0 円 (0 円×10人)
- (食事代 希望者のみ)

・スタッフ 19, 200 円 (1, 200 円×16人)

○食育イベント「食農感謝祭」(12/5) 95, 700 円

- ・一般大人（高校生以上） 44, 000 円 (2, 200 円×20人)
- ・会員大人（高校生以上） 17, 000 円 (1, 700 円×10人)
- ・中学生 3, 600 円 (1, 200 円× 3人)
- ・小学生以下 5, 600 円 (700 円× 8人)
- ・未就学児（3歳以下） (0 円× 3人)
- (食事代 希望者のみ)

・スタッフ 25, 000 円 (1, 700 円×15人)

・招待客 1人（鈴木雅博様）、9人（TSUWAMONO彩様）

(4) 反省点・改善ポイント

コロナウイルス蔓延の中、自宅待機でノイローゼになるとの問い合わせもあったことから野外での活動ということで、多くの親子を受け入れした。食育担当の野外調理も感染予防を実施し親子で五平餅作りを楽しんだ。食育イベントの杵の餅つきも未就学児の方も参加し良い記念になった。稲刈りにおいては、とよたつなぐる博のプログラムだったので集客がスムーズに進んだ。



(ナ) 事業内容

令和3年度食料産業・6次産業化交付金（地域での食育の推進事業）事業の伝統料理講座を“にっしん五平餅定食を作ろう”と題し開催。五平餅作りでは、甘みそづくりや五平餅の成型、味噌汁づくりを実施。

アースアズマザーが推進する食育について各支部の理事や食育担当者への勉強会を実施。1日目はつどいの丘にて、食育委員長と食育副委員長より薬膳を通じた食育について説明。2日は豊田市猿投町当会研修施設にて、調理実習を実施。釜戸炊き、味噌汁などの作り方をワークショップ形式で伝えた。災害時でも、生きる為の野外調理方法を実践形式で伝えた。

日進アグリスクールの米づくり体験コースとにっしんコロッケ創り（6次産業）コースの

共同開催として共食ワークショップを開催。米作り体験コースの参加者は、竹筒炊飯を体験。にっしんコロッケ創りコースの参加者は、里芋コロッケ創りを体験。竹筒炊飯は、薪割りから火起こし、炊飯まで実施。里芋蒸しからコロッケを揚げる工程まで実施。また、コロッケづくりで残った、小麦粉や卵などを使いおやつ作りを即興で実演し好評を得た。多くの学生ボランティアも参加し協力を得ている。

豊田市で開催している食育・食農・環境イベントにて、薬膳的効能を考慮した食事の提供を行った。材料は当会で栽培した完全オーガニックの米や野菜を使用。参加者には毎回おいしかったと好評を得ている。野菜嫌いの子どもたちが食べれるようになる姿が印象的だった。

(二) ④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位： 円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	食育関係 イベントの残り調味料販売と必要消耗備品の購入	(A) R3. 3. 14~12. 5 (B) 豊田市猿投町農事専従者寮 (C) 5 人	(D) 会員 (E) 10 人	113,908円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	食育関係 「薬膳を通じた食育で薬膳の効能を学ぶ」講演会	(A) R3. 3. 14 18:00~22:30 (B) 豊田つどいの丘 (C) 7 人	(D) 会員 (E) 支部役員 10 人	0円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	食育勉強会 「薬膳を通じた食育で薬膳調理法」	(A) R3. 3. 14~15 9:00~15:00 (B) 豊田市猿投町農事専従者寮 (C) 10 人	(D) 会員 (E) 支部役員 13 人	12,011円

ニティの 構築事業 (食育関係)				
④資源循環 型・環境保 全型経済 を推進す るコミュ ニティの 構 (食育関係)	「親子で楽しむ♪食 農・食育体験・紫の お米の田植えをしょ う！」を開催	(A) R3. 5. 2 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 15人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 33人	22,903円
④資源循環 型・環境保 全型経済 を推進す るコミュ ニティの 構築事業 (食育関係)	第2回環境イベント 『生き物いっぱいの 田んぼで いきものみつけ！』 を開催。	(A) R3. 8. 8 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 15人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 47人	32,050円
④資源循環 型・環境保 全型経済 を推進す るコミュ ニティの 構築事業 (食育関係)	とよたつなごる博 「稲刈りとこだわり のお米とお味噌を使 った五平餅づくり」	(A) R3. 10. 3 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 16人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 51人	17,520円
④資源循環 型・環境保 全型経済 を推進す るコミュ ニティの 構築事業 (食育関係)	食育イベント 「食農感謝祭」 杵と臼を使用した昔 ながらのもちつき、 味噌汁、和太鼓演奏 と和太鼓体験。	(A) R3. 12. 5 10:00～14:30 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 15人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 58人	65,893円
④資源循環 型・環境保 全型経済	「伝統料理講座」 にしん五平餅定食 を作ろう	(A) R3. 9. 26 10:00～13:00 14:00～17:00	(D) 一般市民 (E) 18人	83,736円

を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	令和3年度食料産業 ・6次産業化交付金 (地域での食育の 推進事業)	(B) 日進市民会館 調理実習室 (C) 11名		
④資源循環 型・環境保 全型経済 を推進す るコミュ ニティの 構築事業 (食育関係)	日進市 共食ワーク ショップ 「米づくり、里芋コ ース」 (日進市受託事業)	(A) R3. 11. 21 (B) 日進総合運動 公園 (C) 15名	(D) 一般市民 (E) 46人	47,209円

(2) 総費用 (無償ボランティア92人)

総合計 395,230円 (113,908円+12,011円+22,903円+32,050円
+17,520円+65,893円+83,736円+47,209円)

(内訳)

○食育関係 113,908円
 ・消耗品費 113,578円 ・支払手数料 330円

○食育勉強会 12,011円 (3/15)
 ・講師料(2名)無償ボランティア
 ・仕入高 7,901円 ・印刷製本費 1,200円
 ・消耗品費 880円 ・賃借料 1,430円
 ・保険料 600円

○食育関係 田植え体験 22,903円 (5/2)
 ・仕入高 21,017円 ・消耗品費 1,886円

○食育関係 生き物調査 32,050円 (08/08)
 ・仕入高 30,216円 ・消耗品費 1,834円

○食育関係 稲刈り 17,520円 (10/03)
 ・仕入高 15,818円 ・消耗品費 1,702円

○食育関係 収穫感謝祭 65,893円 (12/05)
 ・仕入高 57,800円 ・消耗品費 8,093円

○食育関係 日進市 83,736円 (09/26)
 ・仕入高 17,964円 ・賃借料 16,750円
 ・諸謝金 31,000円 ・保険料 900円
 ・旅費交通費 1,970円 ・支払手数料 110円
 ・消耗品費 11,972円 ・広告宣伝費 3,070円

○食育関係 日進市 47,209円 (11/21)

・仕入高	41,008円	・消耗品費	6,201円
(3) 収益			
総合計	284,800円		
(内訳)			
○食育関係	12,200円		
・調味料			
(おかか、甘味噌等販売)	12,200円		
○食育勉強会	34,500円	(3/15)	
・支部役員	26,000円	(2,000円×13人)	
・スタッフA	4,000円	(2,000円×2人)	
・スタッフB	4,500円	(500円×9人)	
○食育関係 田植え体験	26,400円	(05/02)	
・一般大人(高校生以上)	9,600円	(800円×12人)	
・小中学生以下	3,200円	(800円×4人)	
・未就学	1,600円	(800円×2人)	
・未就学児(1歳)	0円	(0円×1人)	
・スタッフ	12,000円	(800円×15人)	
○食育関係 生き物調査	37,600円	(08/08)	
・一般大人(高校生以上)	17,600円	(800円×22人)	
・小中学生以下	2,400円	(800円×3人)	
・未就学	5,600円	(800円×7人)	
・未就学児(1歳)	0円	(0円×3人)	
・スタッフ	12,000円	(800円×15人)	
○食育関係 稲刈り	40,800円	(10/03)	
・一般大人(高校生以上)	19,200円	(800円×24人)	
・小中学生以下	3,200円	(800円×4人)	
・未就学	5,600円	(800円×7人)	
・スタッフ	2,800円	(800円×16人)	
○食育関係 食育感謝祭	58,000円	(12/05)	
・一般大人(高校生以上)	30,000円	(1,000円×30人)	
・小中学生以下	11,000円	(1,000円×11人)	
・未就学	2,000円	(1,000円×2人)	
・スタッフ	15,000円	(1,000円×15人)	
○食育関係 日進市	37,600円	(09/26)	
・一般大人(高校生以上)	24,000円	(2,000円×12人)	
・小中学生以下	12,000円	(2,000円×6人)	
・甘味噌	1,600円	(200円×8個)	
○食育関係 日進市共食	36,000円	(11/21)	

- ・一般大人（高校生以上） 12,000円（ 800円×16人）
- ・未就学 11,200円（ 800円×14人）
- ・スタッフ 12,000円（ 800円×15人）

（４）反省点・改善ポイント

稲刈りイベントにおいては、とよたつなぐの博のプログラムとして開催していたので、集客がスムーズに進んだ。屋外体験だったが、密集を防ぐのが難しかった。家族単位でのソーシャルディスタンスを保つ様に今後とも努めていく。

食農活動では、今年も新型コロナウイルスの影響で大きく広報活動が出来なかったが、田植えや生き物調査、稲刈りへも出席した方が参加された。スタッフについては、多くの役員の協力があり無事終える事が出来た。

食育勉強会では、同会全国活動6か所の薬膳料理指導を初めての試みで行った為、直前まで試行錯誤する結果となった。一日目は夕方まで総会后豊田市のホテルで座学の講演を行い翌日は豊田市猿投町農事専従者寮にて基本調理の仕方を体験することでより薬膳料理の効能の大切さの理解度が上がった





【 釜戸炊きした竹筒炊飯の御飯 等 】

(ヌ) ④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 マルシェ販売

(1) 開催日時

イベント時の不特定日

(2) 総費用（無償無償参加ボランティア 延べ540人）

総合計 4,017,908円

○人件費用

(内訳) 1,572,700円

・正会員従事者（延べ22名）無償ボランティア

・給料手当 1,256,700円

(158,000円×2ヶ月×1人)

(100,000円×12ヶ月×1人)

(56,700円×1ヶ月×1人)

○その他経費用 2,445,208円

(内訳)

仕入、棚卸関係 619,566円

・当期仕入高 716,016円

・期末棚卸高 ▲599,655円

・車両費 300,372円

・燃料費 13,361円

・通信運搬費 225,046円

・消耗品費 154,722円

・修繕費 299,189円

・水道光熱費 128,650円

・地代家賃 24,000円

・期首棚卸高 503,205円

・保険料 280,810円

・租税公課 56,000円

・支払手数料 17,484円

・広告宣伝費 13,200円

・法定福利費 46,240円

・減価償却費 250,768円

・賃貸料 15,800円

(3) 収益

総合計 2,553,831円

(内訳)

・売上高 2,553,831円

<宅配販売> 749,402円（関東エリア様販売含む）

<出展販売> 1, 508, 442円

<雑収益> 295, 987円

内訳

・デカトルフィユマルシェ（3回出店）	12, 006円
・池下マルシェ（3回出店）	17, 488円
・日進シンポジウム	13, 394円
・Street&ParkMarket（1回出展）	23, 268円
・他マルシェ販売	1, 442, 286円

内訳

・雑収益（受取運賃）	295, 985円
・受取利息	2円

（４）反省点・改善ポイント

今年は、コロナウイルス蔓延の為に販売が中止となり大変な事業になり、野菜も出来ず困ったが、中古のビニールハウスの寄付があった。来年度は完全オーガニック（無農薬）野菜の濃味な旨味も更に良くなる事と実感。食材の効能等もサービスで付けて、食べ方も記載し大変好評を得ている。野菜を食べない障がいのある子どもたちも喜び食べる作物になっている。

（ネ）④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事体験

今年度は実施無し

（ノ）⑤社会的包摂推進に係る事業

（ハ）事業内容

【平成28年3月31日2016年 豊田市認定第2号 生活困窮者自立支援就労訓練事業所認定】

生活困窮者自立支援制度は、平成27年4月15日「現在は生活保護を受給していないが、生活保護に至る恐れが有る人で、自立が見込まれる人」を対象に、困り事に関わる相談に応じ、安定した生活に向けて仕事や住まい、子どもの学習など様々な面で支援。生活保護から脱却した人でも、再び最低限の生活を維持出来なくなる事が無い様、支援の対象となる。

その為に、都道府県や市町村に「相談窓口・就労（準備）・家計・学習支援等」が設けられている。

【暮らしに困る理由や状況は様々である。支援の対象事例】

- ・離職後、求職の努力を重ねたが再就職出来ず、自信を失って引きこもってしまった人
- ・高齢で体の弱った親と二人暮らしを続ける内に、地域から孤立してしまった人
- ・家族の介護の為、時間に余裕はあるが収入の低い仕事に移った人
- ・配偶者からの暴力を逃れて家を飛び出したが、子供が幼い為に就業が難しい人
- ・いじめなどの為に学校を中退し引きこもりを続ける内に、社会に出るのが怖くなってしまった人
- ・家計の管理が上手く出来ない為に、借金の連鎖を止められない人、等々。

平成28年（2016年）4月～支援フィールドは会の農事部の圃場・作業所で農業（心の学校メンタルヘルスの課外授業として実践圃場）を通して、その方々に強制する事なく一緒に作業指導をしながら社会復帰を目指して相手の立場に立って無理なくやる気・元気を取り戻し、自己肯定感を高めた上で自主性・主体性を養う自立支援を行う。

豊田市生活福祉課より生活保護者の支援も依頼され、同事業に取り組んでいる。専任相談支援担当者として村野政章副理事長を任命し、事業に従事。全額会負担有給理事として雇用。

＊ 全国エリアで理念に賛同する会員様を通じ、支部でも事業部を設立し本格的に指導を始動。

《 事業支援実施 》

平成29年（2017年1月）岐阜県飛騨エリア企業会員（株）ありがとうファーム

岐阜県第1号認定 生活困窮者自立支援における就労訓練事業所 開設指導

平成29年（2017年4月）岐阜県飛騨市就労準備支援事業 委託事業開設指導

平成30年（2018年9月）千葉県野田市に市民団体Earth as Mother千葉を通じ企画提案

平成31年（2019年4月～）NPO法人Earth as Mother千葉

千葉県野田市就労準備支援事業 委託事業開設指導

平成31年（2019年4月）NPO法人Earth as Mother岐阜 NPO法人 ぎふNPOセンター協働

岐阜県土岐市就労準備支援事業・社会的居場所事業 業務連携指導

令和2年（2020年4月～）NPO法人Earth as Mother岐阜 東濃エリア

岐阜県土岐市就労準備支援事業・社会的居場所事業 委託開設指導

令和2年（2020年4月～）NPO法人Earth as Mother岐阜 飛騨エリア

岐阜県飛騨市就労準備支援事業 委託事業開設指導

令和3年（2021年4月～）NPO法人Earth as Mother千葉

千葉県野田市被保護者就労準備支援事業の一体実施

千葉県野田市重層的支援体制整備（移行）事業 委託事業開設指導

令和3年（2021年6月～）NPO法人Earth as Mother本部

愛知県日進市生活困窮者等就労準備支援事業 受託開始

これまで豊田市では生活福祉課より被保護者（生活保護）の体験訓練の希望者をインセンティブ無しで受入れており、豊田市就労訓練支援事業における同市及び豊田市社会福祉協議会からの利用者受け入れに関しては、事業委託金、補助金、補助金等無しで社会貢献と復帰者を生み出してきた。

昨年、令和3年（2021年）豊田市担当部署には次年度以降の事業連携に関する事業運営内容を提案したところ、重層的支援体制整備事業協議会（仮称）を設置準備の経過を経て、参加支援事業「とよた多世代参加支援プロジェクト」を正式に協議会として設立された。同会への参加し地域資源としての活躍を期待したいとの見解であったが、当会はその協議会の一会員として入会し、定期的に行われるzoom勉強会の参加に留まっている。

令和3年（2021年）4月より任意事業として始まった重層的支援体制整備事業とは、市町村における既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、①相談支援 ②参加支援 ③地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業を創設するものである。

当会Earth as Motherグループでは、千葉支部は野田市より重層的支援体制整備（移行）事業の委託を受け、業務連携指導を行う中、先進事例として積極的に野田市モデル構築に向けて取り組んでいる。

岐阜支部東濃エリアの就労準備支援事業・社会的居場所の利用者様も定期的に受入れ豊田市圃場で農事訓練体験を通じ、体力作りやコミュニケーション力を上げて社会復帰の一助として事業連携を行っている。

その他、愛知県内における社会的包摂推進事業は福祉部事業として2年以上に渡り日進市地域福祉課に情報提供をしてきた生活困窮者自立支援法における就労準備支援事業運営業務が令和3年年度委託事業者選定の為、公募型プロポーザルによる企画提案募集がされ、当会は応募しプロポーザルプレゼンテーションした。

選定の結果、令和3年（2021年）6月より生活困窮者自立支援法における「日進市生活困窮者等就労準備支援事業」の業務運営を受託することになった。

本年は、「いくるば にっしん」の名称で日進市役所庁内、日進市社会福祉協議会、各福祉関係諸機関に事業紹介の周知を新型コロナウイルス感染症対策の対応に配慮しながら行った。

就労準備支援事業は、日進市生活困窮者自立相談支援窓口（暮らしサポート窓口＝日進市社会福祉協議会）や地域福祉課福祉相談係（生活保護）との綿密な連携を行いながら、見学相談者3件の中で1名が「いくるば にっしん」利用希望があり、9月15日利用決定し支援プラン開始。社会生活自立支援～就労自立支援プログラムを実施し、開拓した協力企業様の職場見学や就労体験を通じ利用者様目標の年内12月中に就労し、現在も次の目標に向かって継続就労中である。

（ヒ）社会的包摂推進に係る事業 生活困窮者・生活保護者の自立就労支援事業

（1）開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑤ 社会的包摂推進に係る事業。 (生活困窮者支援)	生活困窮に至る恐れがある人で、自立がみこまれる人の支援	(A) R3. 4. 1～ R4. 3. 31 (B) 千葉県野田市 岐阜県 土岐市 飛騨市 美濃市 愛知県日進市 (C) 2人	(D) 豊田市 日進市 一般・会員 (E) 65人 豊田市 23人 日進市 42人	4,605,217円

(2) 総費用

総合計 4,605,217円

人件費用

(内訳)

・正会員従事者(2人)

・給料手当 3,982,125円

(3,501,544円/12か月分)

(480,581円/ 6か月分)

その他経費

・消耗品費 54,616円

・租税公課 8,150円

・賃借料 19,900円

・広告宣伝費 5,855円

・保険料 900円

・通信費 45,201円

・印刷製本費 2,110円

・支払手数料 7,128円

・法定福利費(管) 479,232円

(3) 収益

総合計 3,844,000円

(内訳)

各支部、エリア指導料 3,844,000円

日進市 1,750,000円 岐阜 946,000円

千葉 1,128,000円 その他 20,000円

(4) 反省点・改善ポイント

日進市生活困窮者等就労準備支援事業受託と、各地区の業務提携指導料を頂き、収入が上がっている。赤字事業の為に利益収入を上げる必要がある。



(フ) ⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業

(ヘ) 事業内容

豊田市協働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。8期を迎えた2016年度から当法人単独での事業運営となり市民農園指導教室を年2回開講。今年度は管理担当が講師を務め、市民農園マザリーアースを青空会場にして契約者している方対象に有料で農業の普及活動として開催。また、氣力野菜の試食会を行った。今年度は、環境イベントを通じて、契約者が増えている。

(ホ) ⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業 市民農園

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	市民農園	(A) R3. 1月から 12月迄随時受付 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 5人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 18人	134,184円
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	土づくり 青空交流会	(A) R3. 5. 9 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 3人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 13人	4,712円
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	野菜づくり 青空交流会 (9月26日から 変更して開催)	(A) R3. 11. 14 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 2人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 9人	4,369円

(2) 総費用(無償ボランティア人)

総合計 232,504円 (223,423円 + 4,712円 + 4,369円)

(内訳)

- ・ 諸謝金講師料 0円 (2人無料)
- ・ 通信費 1,497円 ・ 仕入高NPO 8,581円 ・ 印刷製本 100円
- ・ 消耗品費 141,922円 ・ 支払手数料 60,320円 ・ 賃借料 11,000円
- ・ 銀行手数料 103円

(3) 収益

総合計 204,384円 (15,200円+134,184円+55,000円)

(内訳)

- ・ 市民農園セミナー参加料 (延べ22人) 15,200円
 - 1回目 利用者 600円× 8名= 4,800円
 - 1,000円× 5名= 5,000円
 - 2回目 利用者 600円× 9名= 5,400円
- ・ 市民農園利用料 (18人) 134,184円
 - 1区画利用者 5,500円× 12名= 66,000円
 - 2区画利用者 11,000円× 3名= 33,000円
 - 3区画利用者 16,500円× 2名= 33,000円
 - 4区画利用者 22,000円× 1名= 22,000円
- ・ 前受金2021年1～3月分 24区画分差引 11,408円
- ・ 前受金2012年1～3月分 26区画分差引 ▲35,724円
- ・ 耕運代金 4,500円 (1,500円× 1,3,000円× 1)
- ・ 補助金 (農業振興対策事業) 55,000円

(4) 反省点・改善ポイント

2021年度新規利用者や一般の参加で土づくりの意見交換会が開催出来て良かった。利用者様の参加を促すには新たな興味を引く内容が必要。

藤の赤のみそ汁や、おにぎりを提供することもあり、参加者と生き合いあいになりゆっくりとした空間での学びや意見交換をする機会を持つよう継続していく。



(マ) ⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業 6次産業交付金

(ミ) 事業内容

令和2年度農林水産省食料産業・6次産業化交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け教育ファーム検討委員会を開催。食や農業への理解をより増進する農業体験機会を提供する為に、日進市で実施した。より充実したプログラム企画開発を行う。検討委員会を開催しながら事業を進める事により、次年度実施予定の農業体験を一時的なイベントでは無く生産者の指導を受けながら大人も子どもも一連の農作業や伝承農法等を体験する中で、地域の農業や田畑が洪水防止、生物多様性保全、地域の食文化や伝統文化の継承など多くの機能を持っている事に気付き、農業の魅力を再発見する機会を多く提供する事に繋がる為行った。第4回は外部講師としてあいち食育いきいきプラン2020について愛知県食育消費流通課主査藤井有希女史より説明。日進市の農業、食育活動について葡萄のふくおか 福岡英憲氏より講話を行った。第5回目はプログラムの開発についてまとめを実施。

また愛知県立大学より、教授と教育型インターンシップにて2名の学生が参加。

令和3年度農林水産省食料産業・6次産業化交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け教育ファーム検討委員会を開催。昨年に引き続き、日進市で実施。

第3回には、第4次食育推進計画、教育ファームについて東海農政局小田木氏、齋藤女子を外部講師として招き説明。日進アグリスクールで栽培した峰のむらさきと里芋の試食(味噌汁)を行った。

また愛知県立大学より、教授と教育型インターンシップにて1名の学生が参加。

これと並行して稲作や里芋の栽培に興味ある農業体験希望者を募り、田植えから収穫までの稲作体験と種蒔きから収穫までの里芋栽培体験。収穫した米や里芋を使って共食ワークショップを実施している。

(ム) ⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業 6次産業交付金

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位: 円)
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 (協働事業)	令和2年度食料産業・6次産業化交付金 第4回教育ファーム検討委員会	(A) R3.1.26 10:00~11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 4人	(D) 日進市職員、日進市市民など (E) 15人	3,750円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業	令和2年度食料産業・6次産業化交付金 第5回教育ファーム	(A) R3.2.6 10:00~11:45 (B) 日進	(D) 日進市職員、日進市市民など	125,120円

要な事業 (協働事業)	検討委員会	市民文化会館 (C) 4 人	(F) 14 人	
⑧ 前各号の 事業を遂行 する為に必 要な事業 (協働事業)	令和3年度食料産業 ・6次産業化交付金 第1回教育ファーム 検討委員会	(A) R3. 10. 12 10:00～11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 5 人	(D) 日進市職 員、日進市市 民など (E) 13 人	2,090 円
⑧ 前各号の 事業を遂行 する為に必 要な事業 (協働事業)	令和3年度食料産業 ・6次産業化交付金 第2回教育ファーム 検討委員会	(A) R3. 11. 9 10:00～11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 4 人	(D) 日進市職 員、日進市市 民など (E) 12 人	7,850 円
⑧ 前各号の 事業を遂行 する為に必 要な事業 (協働事業)	令和3年度食料産業 ・6次産業化交付金 第3回教育ファーム 検討委員会	(A) R3. 12. 14 10:00～11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 5 人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 12 人	7,127 円

(2) 総費用 (無償ボランティア22人)

総合計 145,937円

(内訳)

・旅費交通費	4,870円	・賃借料	8,350円
・通信運搬費	2,530円	・印刷製本費	7,200円
・仕入高NPO	3,387円	・消耗品費	6,600円
・諸謝金	113,000円		

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

日進市役所関係者や大学教授、日進市アグリスクール参加者、日進市各団体の方、インターンシップの大学生が参加され、活発な提案がされ良い会合となった。



(メ) 事業内容

今年も日進市の委託事業として「日進アグリスクール米作り体験コース2021」を5月23日(日)の「どろリンピック&田植え」より開催。田んぼ内での徒競走や泥遊び、田植えを実施。

8月1日(日)には、第2回目の「自然観察・生き物調査」を開催。除草のレクチャー稲の成長状況を説明。田んぼに生えている草を調査する為、「テデトールビンゴ」を行った。その後、生き物観察をして捕まえた生き物の発表会を行った。

9月19日(日)には、第3回目の「稲刈り。はざかけ」は緊急事態宣言発令の為イベントとしては中止。ボランティアとしての参加を募集し開催。昔ながらの手鎌での稲の刈り方やはざかけを行った。昔ながらの手鎌での稲の刈り方やはざかけのレクチャーを実施した。

10月10日(日)には、第4回目の「足踏み脱穀・わらリンピック」を開催。昔ながらの足踏み脱穀機を使用した脱穀方法やわらとり等を行い、コンバインや足踏み脱穀から機械に進化した内容を説明し、わらリンピックと題し、親子一組での徒競走、わらなげ大会を実施。

11月7日(日)には、第5回目として「選別・食育講座」を開催。選別体験は一升瓶などを使ってのお米のもみすりを実施。もみを飛ばす体験やお米の選別も行った。又、米づくり体験コースの振り返りと薬膳食育講座を座学で行った。参加者と一緒に作ってきた「峰のむらさき」の試食も実施している。

11月21日(日)には、最終回として「共食ワークショップ」を開催。日進市アグリスクールで栽培した峰のむらさきを使った竹筒炊飯体験を薪割り、火つけから、米研ぎ、炊飯まで実施。また、1年間の振り返りを行った。

参加する事で自然に触れ、農業を体験する事で子どもたちに食育・食農の大切さを知る良い影響を与えている。最終の共食ワークショップでは、食育の必要性や野菜や米も薬膳的効能など伝えている。一年を通じ参加者が満足する内容となった。

(モ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位:円)
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第1回 6次産業 米作りコース 峰のむらさきの田植え、 苗取り、どろリンピック	(A)R3.5.23 (B)日進市当会圃場 (C) 7人	(D)一般市民 (E) 64人	0円

⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第2回 6次産業 米作りコース 圃場管理、 自然観察・生き物調査	(A) R3. 8. 1 (B) 日進市当会圃場 (C) 7人	(D) 一般市民 (E) 47人	700円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第3回 6次産業 米作りコース 峰のむらさきの 稲刈りとはざがけ。	(A) R3. 9. 19 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人	(D) 一般市民 (E) 35人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第4回 6次産業 米作りコース 足踏み脱穀、 わらリンピック	(A) R3. 10. 10 (B) 日進市当会圃場 (C) 7人	(D) 一般市民 (E) 56人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第5回 6次産業 米作りコース 選別&食育講座（オー ガニック農法、薬膳）	(A) R3. 11. 7 (B) 日進市当会圃場 (C) 8人	(D) 一般市民 (E) 33人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第6回 共食ワークショップ 一年間の振り返り 米作り・里芋コース 合同	(A) R3. 11. 21 (B) 日進市 総合運動公園 (A) 15人	(D) 一般市民 (E) 69人	0円

◎本事業・6次産業米作りコースと6次産業体験コースは、日進市から委託を受けての事業である。
10事業がまとめて行われており、また売上も一括であるため、その総費用と収益についてまとめて掲載。

(2) 総費用（無償ボランティア49人）

総合計 138,446円

(内訳)

・仕入高NPO	25,174円	・印刷製本費	700円
・車両費	5,200円	・燃料費	2,235円
・通信運搬費	620円	・消耗品費	26,852円
・賃借料	77,170円	・支払手数料	495円

(3) 収益

総合計 2,211,580円

(内訳)

・受取助成金	250,000円	・事業収益	1,911,580円
・その他収益	50,000円		

(4) 反省点・改善ポイント

広報にしんや日進市のサイトやメールにて集客を実施。募集時点では満員となったが次第に参加者が減少する傾向になっている。ふるさと納税者も今年から参加することが急遽決まり、かなり募集定員がになった。来年度は人数制限を日進市と調整を図る。

「選別・食育講座」は初めての会場、初めての企画で準備に時間が必要だったが参加者には好評だった。「共食ワークショップ」は参加者、スタッフ、ボランティアを合わせると100名弱の参加となった。食事を用意が大変な事もあり、前日は深夜遅く迄の準備となった。

スタッフの平均年齢も高く、体力的な問題もあるので、来年以降は募集定員の制限をかけていく必要がある。





【 田んぼでの泥リンピック&釜戸炊きした竹筒炊飯の御飯 等 】

(ヤ) 事業内容

日進市の委託事業として愛知の伝統野菜のさといも『八名丸』栽培からコロッケ創りまでを体験する「にっしんコロッケ創りコース2021」を4月18日(日)の『畑づくり』より開催。クワ等の道具の使い方をレクチャーし畝たてや種芋を植える作業などを実施。

6月6日(日)には、第2回目の『土寄せ&植付』を開催、4月に植えた種芋の経過観察、草刈り、土寄せをし、堆肥を入れ、草を乗せて、マルチを実施した。

8月22日(日)には、第3回目の『管理作業(土寄せ)』を開催。前半は管理作業で、草刈り、追肥、刈った草を根元に置く作業を実施。後半は、残された農地の半面へ堆肥まきを実施し、大事な土作りの作業を体験した。

11月7日(日)には、第4回目の『収穫・試食』を開催。自分たちで育てた里芋を収穫し、その場で焼き里芋にして提供。収穫の仕方もレクチャーしている。

11月21日(日)には、最終回として『共食ワークショップ』を開催。里芋蒸しからコロッケを揚げる工程まで実施。また、体験コースの一年間の振り返りを行った。

自分たちの育てたお米などを食する事で、食育・食農・共育の大切さを伝える事が出来た。農業を体験する事で子どもたち作物を育てる大変さ作物への愛情をかけることの大切さ知る良い影響となった。最後の共食ワークショップでは里芋を普段食べない子どもでも食べる事ができていたと喜ばれていた。

(ユ) ⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第1回 6次産業コース 里芋の播種	(A) R3. 4. 18 (B) 日進市当会圃場 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 18人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第2回 6次産業コース 里芋の管理作業Ⅰ	(A) R3. 6. 6 (B) 日進市当会圃場 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 18人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第3回 6次産業コース 里芋の管理作業Ⅱ	(A) R3. 8. 22 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人	(D) 一般市民 (E) 23人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第4回 6次産業コース 里芋の収穫、試食	(A) R3. 11. 7 (B) 日進市当会圃場 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 19人	0円
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業。	第5回 共食ワークショップ 一年間の振り返り 米作り・里芋コース 合同	(A) R3. 11. 21 (B) 日進市 総合運動公園 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 19人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア29人）

総合計 円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

広報にっしんや日進市のサイトやメールにて集客を実施したが思う様に、集客が進まなかった
土壌の状態がぬかるんでいると足をとられ、体力の消耗が多くなる。農作業が不慣れな方

もいるので、休憩をこまめにする様にする。堆肥まきを行う事で土づくりの大変さを知り、作物を頂くという有難さを伝える良い機会になった。

今回米作り体験コースと同時開催となった。スタッフの人員配置など検討するところが多々あったが問題なく運営できた。



(ヨ) 事業内容

令和3年度食料産業・6次産業化交付金（地域での食育の推進事業）事業として“未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2021 in にっしん”と題し開催。広く多くの一般県民に対し、各ライフステージにおける食生活の課題や地域農産物の現状を伝え毎日の食事が自然の恩恵の上に成り立ち、生産者をはじめ、多くの関係者により食が支えられていること知り、食に対する感謝の気持ちを深めてもらい、地域農産物の地産地消への関心が高めることを目的に行った。内容は、ドキュメンタリー映画『カレーライスを一から作る』の上映会と東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科 教授 上岡 美保氏による講演。『未来へつなぐ、持続可能な食育・食農・共育とは』をテーマとした対談を上岡美保氏、日進市産業政策部 農政課 課長 祖父江直文氏、日進市アグリスクール参加者 乙部雅美氏、理事長 山本百百代にて行った。コーディネーターは副理事長 村野政章が務めた。また、愛知県立大学のインターンシップで日進市アグリスクールなどへ参加した木学生よりの体験談を話した。米や野菜が出来るまでの栽培工程や日進市での米作り、6次産業体験コースについてのパネル展示。農薬、化学肥料、除草剤不使用の米や乾燥野菜などの試食品を持ち帰れるようにし配布した。

(ワ) ⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業

令和3年度食料産業・6次産業化交付金（地域での食育の推進事業）シンポジウムを開催

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	シンポジウム（農林水産、地域での魅力発見「未来へ繋ぐ食生活と農業に関するシンポジウム2021in にっしん」映画上映、講演会等	(A) R3. 2. 6 (B) 日進市市民会館小ホール (C) 17人	(D) 一般市民 (E) 78人	399, 222 円

(2) 総費用（無償ボランティア17人）

総合計 399, 222 円

(内訳)

・ 諸謝金	149, 408 円	・ 保険料	3, 000 円
・ 通信運搬費	17, 390 円	・ 支払手数料	1, 145 円
・ 消耗品費	22, 656 円	・ 広告宣伝費	93, 063 円
・ 賃借料	112, 560 円		

(3) 収益

総合計 120, 800 円

(内訳)

・ 一般大人（高校生以上）	88, 200 円（1, 800 円×49人）
・ オンライン	32, 400 円（1, 800 円×18人）
中学生	200 円（200 円×1人）

・招待

0 円 (0 円 × 1 0 人)

(4) 反省・改善ポイント

オンラインでの開催を初めての実施。東京農業大学の上岡教授の講演はとても音声良かったが、映画やパネルディスカッションで音声途絶えたので、録画映像をオンライン参加者へ後日配信をしている。



(7) 事業内容

ぐるぐるNISSHINまちミル博2021のプログラムとして、「愛知県伝統野菜の里芋『八名丸』を収穫して食べよう♪」を開催。日進アグリスクール等で栽培した里芋を収穫し、その場で焼き里芋にして提供。初めて里芋を焼き芋方式で焼いて食べる方も多く、美味しいと満足されていた。また、当会理事が代表を務めるLa C Loへ協力し、サステナブル共育WSとして「あこがれの空の下～教科書のない小学校の一年～」の上映会を開催している。

(7) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。(共食)	ぐるぐる NISSHIN まちミル博覧会 2021 愛知県伝統野菜の里芋『八名丸』を収穫して食べよう	(A) R3. 11. 7 (B) 日進市当会圃場 (C) 8 人	(D) 一般市民 (E) 19 人	3,987 円

(2) 総費用 (無償ボランティア20人)

総合計 3,987 円

(内訳)

・仕入高NP0	1,296 円	・保険料	600 円
・消耗品費	1,091 円	・支払手数料	1,000 円

(3) 収益

総合計 26,500 円

(内訳)

・一般大人（高校生以上）	22,000円（2,000円×11人）
・小中学生以下	3,000円（1,000円×3人）
・未就学	1,500円（500円×3人）
・一般大人（高校生以上）	0円（0円×1人）
・小中学生以下	0円（0円×1人）

（４）反省点・改善ポイント

コロナウイルス蔓延のために参加者が少なかった。愛知県の伝統野菜の里芋『八名丸』を収穫して、その場で焼き芋にして初めて食べた親子は美味しさにびっくりして喜んでいた。里芋は苦手の人が多いので、キャッチの仕方で集客が増えると感じた。



（１）その他 費用

（リ）⑨管理事業

（ル）事業内容

（２）事務局管理費

1 総費用

総合計 3,063,444円

（内訳）

管理費の内訳

印刷製本費（管理）	19,500円
通信費（管理）	546,898円
消耗品費（管理）	472,717円
水道光熱費（管理）	263,053円
地代 家賃（管理）	870,000円
賃借料（管理）	3,000円
広告宣伝費（管理）	194,012円
接待交際費	1,252円
保険料	60,874円
諸 会 費（管理）	56,975円
租税公課（管理）	6,572円
支払手数料（管理）	568,591円

2 収 益

総合計 3,721,283円

（内訳）

正会員受取会費	400,000円
団体・企業受取会費	60,000円
賛助会員受取会費	3,000円
受取入会金	32,000円
寄付金収入	2,725,302円
管 理	331,500円
受取利息	481円
雑 収 益	169,000円

※来年度からの事業に関して昨年多大な寄付金を頂いた。

(3) その他の事業に係る事業

※本年度は実施せず。

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

通常総会

・開催日時及び場所

令和4年3月12日 12:30～14:00

ウィルあいち 会議室セミナールーム1, 2

・議題

- ① 第一号議案 令和3年度 事業報告、決算報告について
- ② 第二号議案 令和3年度 監査報告について
- ③ 第三号議案 令和3年度 寄附金活用報告について
- ④ 第四号議案 令和4年度 事業計画（案）、活動予算（案）について
- ⑤
- ⑥ 第五号議案 令和2年度 理事（案）について
- ⑦ 第六号議案 令和2年度 運営組織・人事（案）について
- ⑧ 第七号議案 定款内容変更について
- ⑨ 第八号議案 農事事業の専任者新規雇用について
- ⑩ 第九号議案 その他について

(2) 理事会

イ 理事会

第1回理事会

・開催日時及び場所

令和2年2月29日 13:20～ 19:00

鶴舞事務所

・議題

- ① 第12回通常総会議案について
- ② 第12回通常総会プログラムについて
- ③ その他について

第2回理事会

・開催日時及び場所

令和2年12月22日 19:20～ 1:00

鶴舞事務所

・議題

- ① 令和3年度事業方針について
- ② 令和3年度年間スケジュールについて
- ③ 令和3年度組織、理事、監事について
- ④ 令和2年度寄附金使用について
- ⑤ 令和3年度 日進市新規事業受託について
- ⑥ 令和3年度各事業部門予算について
- ⑦ その他について

総会費

(2) 総費用（無償ボランティア10人）

総合計 83,712円

(内訳)

・会場賃借料 25,009円

3/15（理念勉強会）

円（会場費）

円（ワイヤレスマイク）

・仕入高NPO 13,755円

・印刷製本費 14,654円

・通信運搬費 28,424円

・消耗品費 1,870円

(3) 収益

総合計 27,000円

(内訳)

Motherly Earth Project 理念 コミュニティづくりの勉強会

・会員 27,000円（1,000円×27人）